

スペインの歴史と展望

180781188 瀬瀬崇矩

内容

- **第1章 第二次世界大戦とスペイン**

第1節：スペインの概要と誕生

第2節：共和政の終焉とスペイン戦争

第3節：第二次世界大戦とフランコ政権支配

内容

- **第2章 第二次世界大戦後のスペインと民主主義**

第1節：国際社会への復帰とフランコ政権の終焉

第2節：スペインと民主化

第3節：民主化とEUへの加盟

内容

● 第3章 EU加盟後のスペイン

第1節：スペイン経済危機

第2節：スペイン失業率問題

第3節：スペイン経済の発展

内容

● 第4章 現代スペインの諸問題

第1節：移民・不法入国者問題

第2節：カタルーニャの独立

第3節：日本とスペインの関係

はじめに

新型コロナウイルス拡大により、さらに失業率が増加

企業が倒産の危機 → 政府の援助 → 条件が厳正

目をつけたのは「**不法移民**」

第1章 第二次世界大戦とスペイン

< 第1節 スペインの概要と誕生 >

スペイン王国



議会君主制国家

「君主は憲法上は、政治的権限を持つが、実際には行使しない」



第1節 スペインの概要と誕生

<スペインの概要>



スペイン王国 首都：**マドリード**

面積 50.6平方キロメートル（日本の約**1.3倍**）

人口 約4,708万人（内、外国人人口 約485万人）

気候 北部：海洋性気候 中央部：大陸気候

東部・南部：地中海性気候

第1節 スペインの概要と誕生

< スペイン王国の誕生 >

7世紀

イスラム勢力



イベリア半島

イスラム支配下



750年

イスラム帝国滅亡



・ 15世紀末

「レコンキスタ」が完了

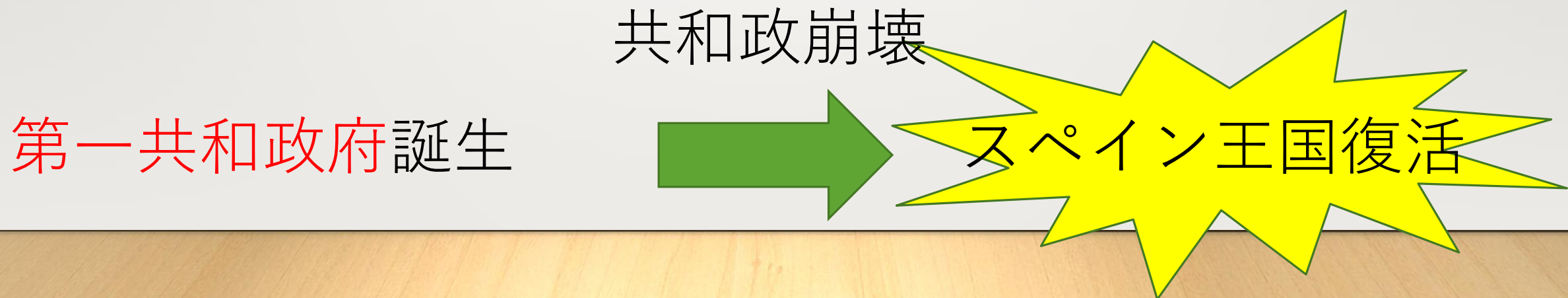
スペイン王国の誕生

第1節 スペインの概要と誕生

< スペイン王国の誕生 >

1833年：王位継承戦争(カルリスタ戦争)が勃発

1868年：9月革命により絶対王政から民主主義化



第2節 共和政の終焉とスペイン戦争



<プリモデ・リベラ>

1921年：プリモデ・リベラによる独裁政権の誕生

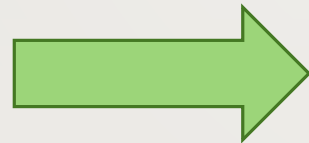
不完全なファシズム → プリモデ・リベラ辞任(1930年)

国王アルフォンソ13世が王政の復権

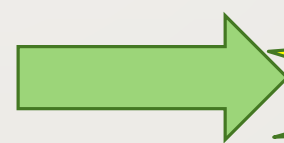
反対派団結

スペイン革命

独裁政権反対



革命委員会



第二次共和政の誕生

第2節 共和政の終焉とスペイン戦争

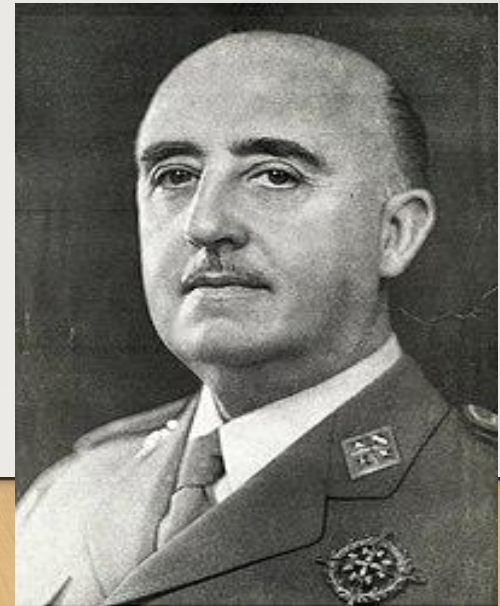
<フランシスコ・フランコ>

1963年：人民戦線政府が発足 内情は右派左派の対立が激化

右派の「フランシスコ・フランコ」がクーデターを実行



7月18日に「スペイン内戦」が勃発
反乱軍を指揮、反乱側地域の確保を実行



第2節 共和政の終焉とスペイン戦争

<フランコとファシズム>

1937年：ファランヘ党と他政党を統合、党首に就任

国家主席として一党独裁体制「**ファシズム**」に固定

1939年1月15日：反乱軍のバルセロナ爆撃が開始



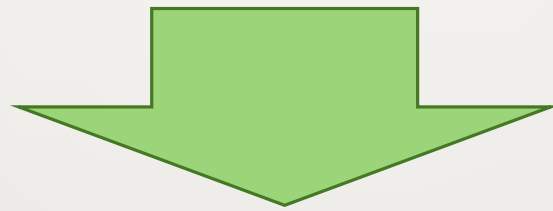
スペイン戦争の勝利と終結

第3節 第二次世界大戦とフランコ政権支配

<フランコの独裁支配>

1939年9月第二次世界大戦勃発

フランコ政権下は「**中立政策**」により枢軸国への参加を回避



スペイン戦争の影響により余力がない状態

第3節 第二次世界大戦とフランコ政権支配

<スペインの内政>

ファランヘ党：右派「カルリスタ」VS 左派「ファランヘ」

フランコ：国際的地位の擁護、自身の権力保持が目的

「有機的民主主義」

第3節 第二次世界大戦とフランコ政権支配

<第二次世界大戦の終結>

国王議會を新設「**王制的政府形態**」を導入



後の新国王固定の構想

国連総会はファシスト認定

国連からの排除

第2章 第二次世界大戦後のスペイン

< 国際社会への復帰 >

朝鮮戦争が勃発、ソ連非協力的な姿勢から国連の機能が低下

スペイン孤立化措置が解除、**正式に国連に加盟**



カトリック教会に「**国家宗教**」の地位を容認

米国との「**相互防衛条約**」の成立

第1節 国際社会への復帰とフランコ政権の終焉

<フランコ政権の終焉>

次期国王を「ファン・カルロス」とする意向を決定

「王政復古」



「新王制の新設」

1975年11月20日フランコ死亡

「社会正義と文化の達成に努力」

民主化への意思

第2節 スペインと民主化の現れ

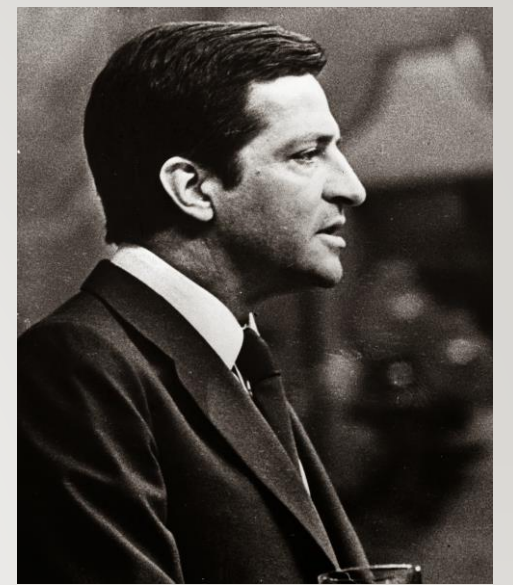
<ファン・カルロスの統治>

個人的独裁は継続し「**絶対君主**」としてスペインを統治



1978年：現行の「憲法」が成立、「**立憲君主制**」が誕生
体制内改革派が主導を維持

第2節 スペインと民主化の現れ



<民主化への進展>

1976年：体制内改革派新首相「アドルフォ・スアレス」
が就任

普通選挙による二院制議会の設置 政党の合法化
言論、思想、労働組合加入の自由 地方自治の保障

第2節 スペインと民主化の現れ

<民主化の実現>

内戦下の体制派と反対派の協調的姿勢

自由を目指す市民中間層や上級官僚の影響



スペイン民主化の実現

第3節 民主化とEUへの加盟



< 社会労働党の成立 >

1982年「フェリペ・ゴンザレス」内閣が成立

EC(現EU)加盟：高度経済成長、経済構造改革が実現

無料国民医療政策 年金制度(貧困層含む)

16歳以下の教育費無料化 インフラ整備の充実

第3節 民主化とEUへの加盟

< EUへの積極的参加 >

1996年「マリア・アスナル」内閣が成立



EUへ積極的参加：インフレの抑制、財政赤字削除

失業率低下

規制緩和

民営化

通貨統合

NATO軍事機構への参加

第3節 民主化とEUへの加盟

2004年「ホセ・ルイス・ロドリゲス

・サパテロ」内閣が成立

ゴンザレス政権回復：地方自治、国際貢献

2011年「マリアノ・ラホイ」内閣が成立

EU政策：財政赤字の削除、金融改革



第3章 EU加盟後のスペイン



< 第1節 スペイン経済危機 >

EU主要国と統一通貨ユーロを導入(1999年1月)

EUからの資金支援 2000年代中頃まで景気は好調に推移



不動産・住宅バブルの発生

第1節 スペイン経済危機

不動産・住宅バブルが崩壊

建設・不動産業界へ銀行からの融資が完全停止

資産価値が大きく低下

スペイン各地の建設工事は中断され買い手のない物件が残された

第1節 スペイン経済危機

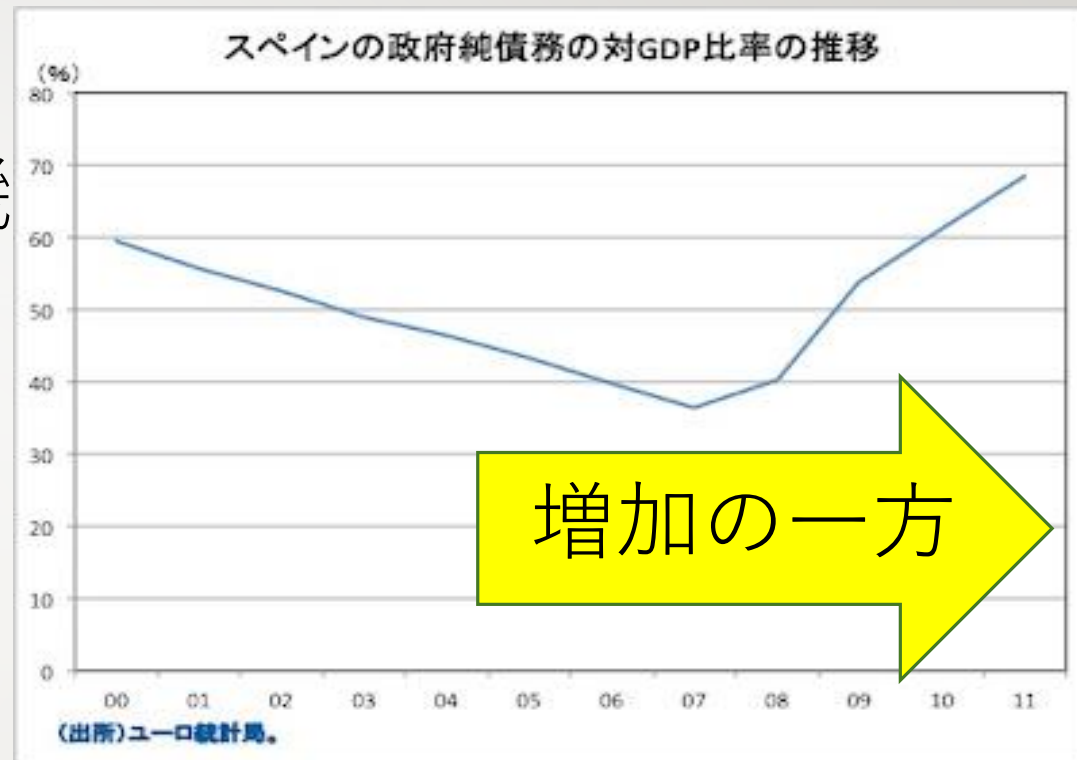
<スペイン経済危機>

政府の公的債務残高(国の借金)

2007年：GDPの39.6%

2011年：GDPの68.5% (社会保障費の歳出増加)

2012年：GDPの100% (月次失業率が25%を突破)



第1節 スペイン経済危機

EUに対して、**1000億ユーロ**の資金援助を要請(2012年6月)

1000億ユーロ = 約13兆円



ストレステスト

不良機関は**SAREB**が清算処理を実行

(SAREB：スペイン資産管理会社)

第2節 スペインの失業率

<失業率の増加>

2012年：労働人口の24.63% (欧州平均の倍を超える結果)

労働人口の4人に1人 (569万3100人)

2年間で90万人が解雇

失業者は初めて500万人に到達

第2節 スペインの失業率

<若者の失業率>

2013年：若者の失業率は53.2% (欧州平均22.6%)

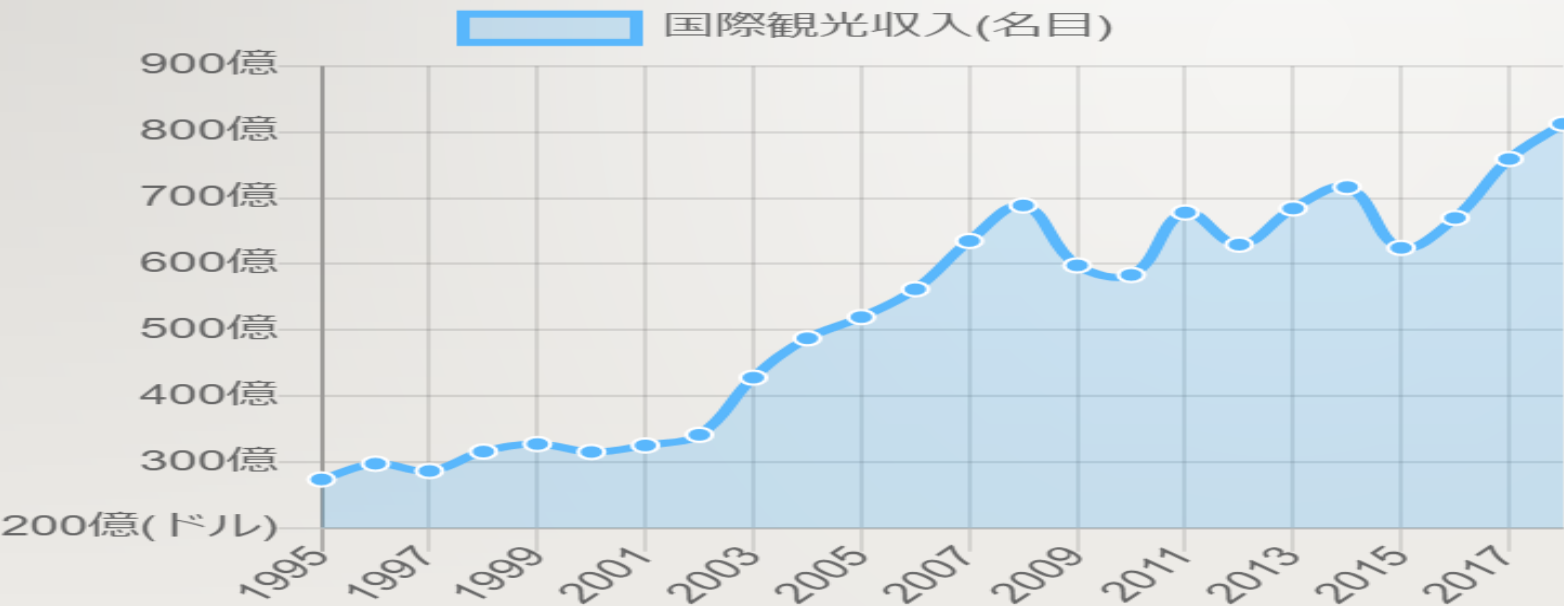
大学卒業 → 高学歴は不要 → **若者の失業率増加**

高学歴のスペインの若者が職を求めて自国を去る事態

第3節 スペインと経済の発展

2014年以降のスペインのは観光収入が増加

スペインの国際観光収入(名目)
推移グラフ(1995~2018年)
(graphtochart.com作成)



アメリカ合衆国に
次いで**第2位**の観光
収入

第3節 スペインと経済の発展

< スペイン文化を観光資源に >

様々な文化がスペインの魅力に花を添え、観光経済の発展に寄与



第4章 現代スペインの諸問題

< 移民・不法入国者問題 >

1936年のスペイン内戦で疲弊した人々が第二次世界大戦後の豊かな欧州へ移動

2010年：157万人のスペイン人が移動し居住

人の流れが外側から内側に

移民・不法入国者問題

<移民とスペイン>

住所不定の**不法入国者**がひそむのが事実

16歳以上の外国人が被雇用者になるには、**居住許可書**・**労働許可書**が必須

スペインでは約14万人の不法入国者が存在

移民・不法入国者問題

2005年：正常化措置を実施（非正規就労を把握、雇用契約の締結、社会保障の加入）



労働者内の移民：マドリード25%、カタルーニャ20%、アンダルシア12%、ムルシア6%

移民・不法入国者問題

EU加盟国のスペインならば、労働許可書・滞在許可が入手可能、EU域内のどの国にも移動可能

2021年5月：アフリカ系移民が押し寄せる



カタルーニャの独立

<カタルーニャ独立問題>



2017年10月：カタルーニャ州「**独立宣言**」

国民警察を批判、独立政権のイメージでSNSに拡散



カタルーニャの独立



2017年10月27日：州議会において独立反対派が欠席する中、異例の**無記名投票**で「独立宣言」を可決

<分離独立派>

「民族自決権利の自由行使と独立主権を持った国としてカタルーニャ共和国を建設する」と発表

カタルーニャの独立



12月21日：州議会選挙

投票率は83%で135議席のうち独立賛成派が70議席



カタルーニャの人々との間に独立意識と中央政府への反発意識が高いことが露見

カタルーニャの独立

スペインとカタルーニャの相互の歴史的対抗

人々を一つの民族へ向かわせる動きが近年の混乱で活発化



「カタルーニャ・アイデンティティ」の認識が必要

終章 今後のスペイン

<新型コロナウイルスとスペイン>



観光関連GDPは約12% (世界平均値10%を超える)

新型コロナウイルスにより、国内外の移動が禁止

スペインのGDP成長率が10.2%減少

終章 今後のスペイン

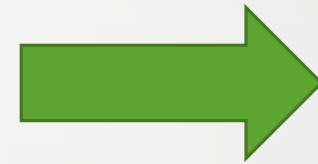
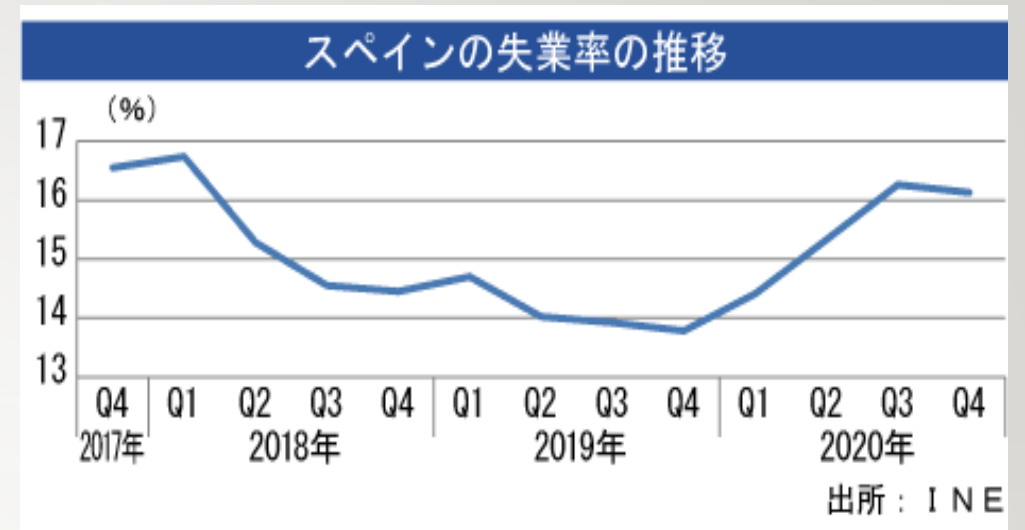
<観光経済の発展と失業率>

スペイン人口が減少し移民が増加

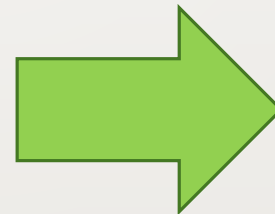
<議論>

移民の受け入れを完全停止

移民を正規に受け入れる



「移民天国」



後者の考えに賛成

終章 今後のスペイン

経済の発展に必要なのはスペイン人の若者と移民の労働力



- 1 非正規移民を把握、正確的な公共サービスの分配
- 2 若者を優先的に援助、国内企業を促す
- 3 職場と住居の提供、子育てがしやすい環境づくり

参考資料

- 写真
<https://www.bing.com/images/search?view=detailV2&ccid=ngwjUN4Z&id=>
- スペインの債務対GDP比率
<https://www.bing.com/images/search?view=detailV2&ccid=5E0hD3O7&id=>
- スペインの国際観光収入
<https://www.bing.com/images/search?view=detailV2&ccid=TFeiS583&id=>
- スペインの失業率の推移
<https://www.bing.com/images/>

ご清聴ありがとうございました